



知性

健康

自主



校章のモチーフ しらね菜

《学校教育目標》

『優れた知性を持ち、健康で心豊かな たくましい生徒の育成』

寒河江市立陵西中学校 学校だより  
2022. 10月号 文責：校長 小野 行彦

# 引き継がれる伝統、さらに伝説を創れ新生陵西健児

1・2年生にとって初めての公式戦、西村山中体連主催の新人総合体育大会が、地区内の公共施設等の体育館を会場に開催されました。参加した運動部の選手たちはそれぞれに立てた目標を達成するために、強化期間等の練習で培った技術と気力を発揮していました。その中で目標を達成できた部や個人、見つかった課題をもとに来春に向けて新たに決意した生徒たちもいるようです。この大会を通して感じ学んだことを、今後の生活や学習意欲、そして部活動に繋げてほしいと思います。



私たちが男子バレー部は、日々基礎練習を多く取り入れてきました。特に、パスを丁寧に行うことを心がけて練習に取り組んできました。また、みんなでグラウンド周りを走って体力向上と合わせて、精神力の強化も図ってきました。さらには、声がかかるまで互いに声を出し合い、大会前ラスト一週間は必死に練習を重ねてきました。その結果、練習試合では、なかなか思ったようなプレーができなかった相手にも勝つたりすることができ、県南ブロック大会へ進むことができました。応援ありがとうございました。



「これまで頑張ったこと」  
男子バレー部部长  
岡田 芳昇

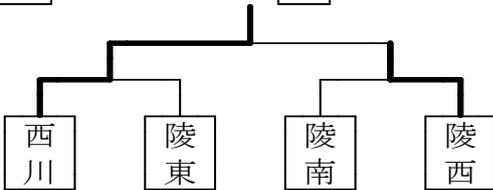
私たちが新人戦で学んできたことは、試合の中での流れの掴み方や、何事にも自分から挑戦していくということだと思います。今回の新人戦は、自分たちのサーブミスなどで流れを渡してしまい、弱気になったことが敗因だと考えています。ミスをしたとしても引きずらずにどんどんと強気で挑戦していくことが大切だと感じました。今回学んだことを、これからの練習に活かして次の大会では勝てるように頑張っていきたいと思います。応援ありがとうございました。



「何事にも強気で」  
女子バレー部部长  
奥山 華

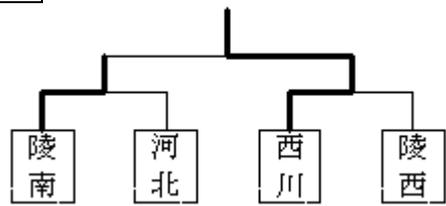
## 準優勝 ☆県南ブロック大会出場

予選リーグ 陵西 2-0 陵東 陵西 2-0 河北  
準決勝 陵西 2-0 陵南 決勝 陵西 0-2 西川



## 第3位

予選リーグ 陵西 2-0 河北 陵西 2-0 陵東  
準決勝 陵西 0-2 西川

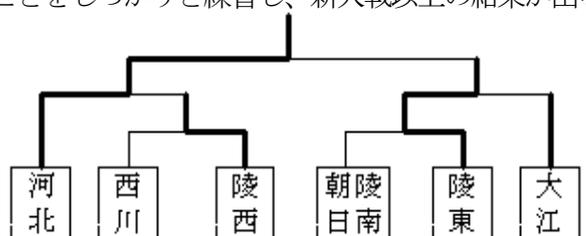


## 「新人戦を終えて」

野球部部长 木村 一惺

私たち野球部は、基礎体力づくりから連携プレーなどいろいろと工夫して練習してきました。今回の新人総体では、強い気持ちを持ってプレーしたり、互いに声をかけあったりして戦ってきました。でも、大会本番では打てない人が多かったのもので、これからは毎日素振りをするのが大切だと学びました。来年の地区総体までの時間で、今大会で学んだことをしっかりと練習し、新人戦以上の結果が出るようにしていきたいです。

第3位 1回戦 ○ 陵西 4-2 西川  
準決勝 ● 陵西 0-10 河北





「学んだこと」  
女子バスケット部部長  
鈴木心香乃

これまでの部活動ではボールハンドリングやオフエンスのボールポジションの確認などの基礎を特に練習してきました。自分が動いた後の周りの動きは、みんなで話し合っ作戦をたてることに努力してきました。本番で学んだことは、目標を決め、それを達成するために必死に努力することの大切さです。そのためには、みんな一人一人がオフエンスの時にはリングに向かいシュートを狙うこと。ディフェンスの時には一つのボールを全員で守ることが、とても大切だと感じました。

[総当たりリーグ戦]  
○対 陵南中 惜敗      ○対 陵東中 惜敗  
○対 河北中 惜敗      ○対 朝日中 惜敗



「新人戦で学んだこと」  
男子バスケット部部長  
伊藤 萩大

私たち男子バスケット部は、今まで基礎練習を中心に工夫しながら取り組んできました。難しい練習でもチームメイトと声を掛け合いながら練習してきました。今回の新人戦では、相手に負けない体づくりや気持ちの面などで学んだことがたくさんありました。また、技術面でも参考になった部分があり、とても良い経験になりました。この経験を忘れず、今後の部活動の中で生かし、来年の地区総体に向けて一生懸命に取り組んでいきます。

[予選リーグ]  
○対 陵南中 惜敗      ○対 河北中 惜敗  
決勝トーナメント進出ならず



「より良いチームにするために」 ソフトボール部部長 木村 悠華

私たちソフトボール部は、日々の練習でキャッチボールやティバッティング、マシーンを使っのバッティング練習など様々な練習に取り組んできました。今大会では、初めての試合で戸惑うこともありましたが、失敗を恐れずにプレーすることができました。他のチームの良い所をまねして、これからもっと良いチームを目指して頑張りたいと思います。応援ありがとうございました。

[総当たりリーグ戦]  
○対 大江中 惜敗      ○対 陵東中 惜敗      ○対 陵南中 惜敗      ○対 河北中 惜敗



「学びが多かった新人戦」 卓球部部長 木村 颯人

私たち卓球部は、これまで基礎練習から応用練習、新しい技術も仲間教え合い練習してきました。今回の地区新人総体からは、もっと基礎的なところを練習や仲間同士での声かけも大切だと学びました。また、他校の選手と比べて技術面でも参考になる所があったので、これからの練習に取り入れたいです。そして、来年の地区総体に向けてチームワークを大切にして今回学んだことを生かしながら練習を頑張ります。

[男子団体戦 予選リーグ]  
○対 大江中 惜敗      ○対 陵東中 惜敗      決勝トーナメント進出ならず

[個人戦]  
○真木 星來    1回戦シード    2回戦勝利      3回戦惜敗  
○木村 颯人    1回戦シード    2回戦惜敗  
○菖蒲 凰介    1回戦勝利      2回戦惜敗  
  
○志田蒼次郎    1回戦惜敗      ○佐渡 宥仁    1回戦惜敗      ○渡邊 孔太    1回戦惜敗  
○菊池 耕平    1回戦惜敗      ○菊池 哲平    1回戦惜敗      ○木村 瑛治    1回戦惜敗

# 避難訓練実施

想定：浸水被害

〔目的〕 近年、50年に一度、100年に一度といわれるような豪雨が頻発している（2年前の7月豪雨では寒河江川の水位が危険域に達した）状況を鑑み、浸水被害が迫っている状況を想定した避難訓練を行う。  
（陵西中学校は浸水災害の避難所にはなっていません）

〔日時〕 9月14日午後

〔対象者〕 生徒と教職員全員

〔避難先〕 高松小学校 ※今回は実際に移動せず、自転車小屋付近を回ってきました。

〔講師〕 寒河江市防災危機管理 防災対策専門員の安孫子辰昭氏

（避難訓練後講話をしていただきました）

〔訓練の流れ〕

- ① 警戒レベル2「洪水注意報または寒河江川氾濫注意報の発表」を想定
- ② 警戒レベル3「寒河江市が発令：洪水警報または寒河江川氾濫警報情報発表」  
今回の避難は、豪雨により外に出てバイパスやアンダーパスを通るのは危険であるとの判断をし、一旦、校舎三階へ垂直避難して雨が小康状態になったことを想定して移動する訓練を行いました。※教職員全員がポータブルマイクを携帯して避難しました。  
（それぞれの教員が確実に生徒を誘導し避難できるようにするためです）

〔訓練から学んだこと〕

- ・垂直避難は最悪の状況を回避する場面でおこなう。
- ・避難が想定されるような予想があれば、警戒レベル3前に移動する。
- ・万が一逃げ遅れた場合は、垂直避難する。
- ・階段移動は決して慌てず落ち着いて行動する。
- ・情報収集が最重要。



## 【一般的な対応】

- レベル2  
（大雨洪水注意報：気象庁）  
・災害モードへの気持ちの切替  
・気象情報の収集
- レベル3（寒河江市が発令）  
・高齢者、要配慮者の避難指示
- レベル4（寒河江市が発令）  
・避難指示

全校朝会の「校長講話」で災害避難のおさらいをした内容の一部です

## 校長講話

令和4年9月21日

- ・「自助」...自分の身は自分で守る
- ・「共助」...みんなで助け合う
- ・「公助」...県や市町村などの取り組み

## 地震との遭遇率

学校にいるときの確率は10%程度

- ・自分一人で家にいるときの確率の方がはるかに高い
- ・学校以外の場所で地震等に遭遇  
⇒自分の命を守るために、どのような行動をとった方がいいのか

## 「減災」

自然災害の発生を防ぐことはできない

↓  
日頃からの備え

↓  
被害をできる限り小さくすること



## 「避難三原則」

- ・原則1：想定にとらわれないこと
- ・原則2：その状況下で最善を尽くすこと
- ・原則3：率先して避難すること

## 中学生としてできること

◎地域から保護される立場から、共助の立場へ

※自分の命(いのち)を最優先としながら

- ・幼い園児や児童の誘導
- ・高齢者の方への支援
- ・学校や自宅などで災害に遭遇したときに気をつけることは何か
- ・災害に備えてできることは何か
- ・災害時に地域を支えるためにできることは何か

災害から命を守る一番簡単で一番シンプルな対策は、何かあったら避難するということです。私たちの記憶の中で強く残っている災害の一つの東日本大震災でも、避難した人は助かったケースが多く、避難しなかった人は亡くなってしまった方が多いのは事実です。皆さんは「釜石の奇跡」という話は知っていますか。『2011年3月11日、激しい揺れがおさまった後、部活をしていた生徒たちが、「津波がくるぞ、逃げろ」といって大声で叫びながら避難を始めました。他の生徒たちもそれに続きました。隣の小学校では、子どもたちが校舎の3階に避難していました。しかし、中学生が一斉に避難する様子を見て、校舎から出て、中学生に続きました。そして、無事に指定された避難所のグループホームに到着しました。しかし、津波の様子を見た生徒たちが、「ここじゃだめだ」と、さらに高台にある介護福祉施設に避難することを先生に進言しました。再度避難する途中に、近隣の保育園から園児を避難させるのを手伝い、その様子を見た近隣住民もそれにつられて避難しました。全員が介護福祉施設に無事着いた時には、津波は中学校と小学校の屋上を遥か超えて、最初に避難したグループホームにも3mを超える津波が押し寄せていました。これには、避難三原則という教えが当てはまっていました。～以下省略～

# 表彰の記録

◎西村山地区中学高校英語弁論大会 【中学暗唱の部】 5位 大泉 楓

◎こども県展 【中学生の部】 入選 菖蒲 愛来、佐藤 豪

◎社会を明るくする運動 作文コンテスト【中学生の部】

優秀 悪七なずな 「小さな悩みから大きな事件へ」

◎少年の主張 西村山地区大会 優秀

村山ブロック大会出場 佐藤 礼

## 「私たちには何ができるか」

佐藤 礼

私には双子の兄がいます。両親は性別ではなく、私たちの性格や個性を大事にして育ててくれました。兄も私も外で遊ぶのが大好きな子供で、多くの時間を外で遊んでいました。私たち兄弟自身も「女なんだから」や「男なんだから」と思ったことは一度もなかったもので、男女の差を感じたことはありませんでした。そして、そのことが当たり前だと思っていました。ところが、中学校に入学してから、よく周りの人に「男女の双子なのになんでそんなに仲がいいの」と言われることが増えました。うれしかったのですが、それと同時になぜ言われるのだろうと疑問に思うことも増えていきました。

そんな日々を送っていたある日、白人の警察官に首を膝で押しえつけられ黒人が死亡してしまうというニュースを見ました。差別のない環境で育ってきた私にとって、このニュースはとても衝撃的でした。はじめはこんなことが本当に起こったのか信じられませんでした。

私の姉はオーストラリアにホームステイをしたことがあります。そのニュースを見る前にいろんな話を聞いていました。姉はコミュニケーションをとるうえで、思いやりの心をもって相手のことを理解するということが、人間関係や信頼関係を築くために一番大切で、それは人種が違っていても変わらないことを学んできました。その話を聞いてから、国を超えて仲良くできるのだ、私もそんな経験をしてみたいと思うようになっていました。

だからこそ、このニュースを見たときの衝撃は大きかったのです。差別をしてもいいことなんて一つもないのに。本当にこんなことが起きていいのか、なぜ起きるのか、私の頭の中は、それでいっぱいでした。皆さんは「僕はイエローでホワイトで、ちょっとブルー」という本を読んだことがありますか。イギリスでの差別体験が書かれています。本の中で作者は差別用語を幾度となく言われてきたと語っています。また、本からは信仰する宗教の違いや社会の在り方が差別に影響しているということを学びました。宗教や社会の在り方などという正直今の私にはよくわかりません。どうすればいいのかなどよく考えてみる必要があります。

最近、差別をなくそうと様々な取り組みが行われています。例えば私たちの中学校でも制服をスラックスに選べるようになったり、出席番号が男女別ではなくなったりしました。また、LGBTQについての講話を聞いて考える時間がとられるようになりました。私たちの近くでも苦しんでいる人がいるかもしれません。そんな時、私たちには何が出来るのでしょうか。私は今起きている問題に目を向けることはできると思います。私はできるだけ多くの外国の方と話し合ってみたいと思い、ある活動に参加申し込みをしました。ですが、災害により残念ながら活動は中止になってしまいました。差別について知ってしまった今、もっと多くの知識を得て多くの人と話し合い自分の考えを深めていこうと思います。そしてそれぞれの人のありのままの姿を受け入れようと思います。私たちには何かできるはずです。

## 11月の主な予定

月日	曜	計 画
11/1	火	全校教育相談期間（～9日）
4	金	教職員「西学研研究部会」 生徒午前授業
9	水	生徒会選挙「公示」 3年保護者進路説明会
10	木	高松小公開授業研究会 生徒午前授業
11	金	学校運営協議会
14	月	校内授業研究会
15	火	学校開放 Day（～17日） 学区民生委員児童委員 主任児童委員と語る会
16	木	技家・保体テスト
18	金	生徒会選挙投開票
24	木	テスト前 午前授業
25	金	2学期末テスト
28	月	定例職員会議
30	水	PTA 三役 OB 会総会